

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

ニューイヤーコンサート

with 石井琢磨

豪華絢爛!ウィーンの響きで迎える新年!
ヨハン・シュトラウスゆかりのオーケストラが贈る、極上のニューイヤー・コンサート



プログラム

ヨハン・シュトラウスⅡ
序曲「ローマの謝肉祭」、ポルカ「雷鳴と稲妻」、ワルツ「ウィーン気質」

ヨーゼフ・シュトラウス
ポルカ・シュネル「憂いもなく」「休暇旅行で」

ヨーゼフ・シュトラウス
ポルカ・フランセーズ「芸術家の挨拶」

ヨハン・シュトラウスⅡ (石井琢磨・佐藤圭・横内日菜子編曲)
「ウィーン協奏曲」

I.ウィーンの夜会(こうもりのバラフレーズ)

II.美しき青きドナウ

III.皇帝円舞曲

指揮

ヨハネス・ヴィルトナー

©Lukas Beck

ピアノ

石井琢磨

2026年 **1月14日**(水)19:00開演 **東京芸術劇場コンサートホール**
S席 15,000円 A席 13,000円 B席 11,000円

お問合せ テンポプリモ 03-3524-1221 (平日10:30~17:00)

中日新聞社創業140年記念事業

2026年 **1月15日**(木)18:45開演 **愛知県芸術劇場コンサートホール**
S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円

お問合せ 中日新聞コンサートデスク 052-678-5323 (平日11:00~17:00)

プレイガイド: チケットぴあ | イープラス | ローソンチケット

【東京公演のみ】 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

【名古屋公演のみ】 Boo-Wooチケット | 芸文プレイガイド 052-972-0430 | アイ・チケット 0570-00-5310

中日新聞コンサートデスク 052-678-5323

※未就学児入場不可 ※やむを得ず、出演者・プログラムが変更になる場合があります。予めご了承ください。

令和7年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業受付 (名古屋公演のみ)

受付期間: 10/4(土)15:00~予定枚数終了まで

主催: テンポプリモ / 中日新聞社 (名古屋公演)

文部科学省
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

一般発売開始!
10月4日(土) 15:00~



ウィーン・フィル出身、ヨハネス・ヴィルトナーが織りなす ワルツとポルカが、客席を熱狂の渦へ さらに石井琢磨プロデュース作品が世界初演!



これぞ本場の華やぎ!

ヨハン・シュトラウス2世が創設した由緒あるオーケストラが、新年の幕開けを華やかに彩ります。指揮を務めるのはかつてウィーン・フィルのヴァイオリニストとして活躍し、“ウィーンの申し子”と称されるヨハネス・ヴィルトナー。彼の色褪せることのない独特の節回しで披露されるワルツ、ポルカ、マズルカの響きが会場を優雅に包み込みます。さらに、大人気ピアニストの石井琢磨が登場。自身のプロデュースによる編曲の世界初演にも注目が集まり、特別なひと時をより一層盛り上げます。伝統と革新が融合した、至高のニューイヤー・コンサート。豪華絢爛な音楽の響きとともに、新しい年のスタートを心ゆくまでお楽しみください。

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 – Wiener Johann Strauss Orchester –

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団は、その前身ヨハン・シュトラウス管弦楽団として、1844年に弱冠19歳のワルツ王ヨハン・シュトラウス2世により結成され、世界中で愛されるウィーン音楽を生み出し、ウィンナ・ワルツを演奏する真の楽団としてその伝統を継承しゆるぎない地位を築いている。エドゥアルト1世の孫でワルツ王シュトラウス2世の又甥にあるエドゥアルト2世の時代に、“ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団”と改称し、ウィーン・フィルのニューイヤーコンサートで有名な名物コンサートマスターのウィリー・ボスコフスキーの時代にその名声をさらに高めていった。またゴールドシュミット、ヴェス、エシュヴェジークハルト、ルードウナーなどの著名な指揮者を招いて、ワルツ王シュトラウス一族が築いたウィンナ・ワルツの伝統を今に受け継ぎ、聴衆を魅了し続けている。



ヨハネス・ヴィルトナー (指揮) – Johannes Wildner, Conductor –

元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト。国立コシツェ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ国立歌劇場、ライプツィヒ歌劇場などの首席指揮者を経て、1997～2007年ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレンの総合音楽監督を務め、2010～2014年にはBBCコンサート・オーケストラの首席客演指揮者も務めた。また2014年からはウィーン郊外のガルス城で行われる夏恒例のオペラ・フェスティバル「ガルス野外オペラ」の総監督を務めている。これまでにロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、バイエルン放送交響楽団、北ドイツ放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団などを指揮し、2008年よりウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団への客演でウィーン楽友協会ホールにて好評を博している。



100枚以上のCDやDVDをリリースする一方、オペラの指揮にも力を注ぎ、アレーナ・ディ・ヴェローナ「カルメン」、新国立劇場「こうもり」など各地で大成功をおさめている。

石井琢磨 (ピアノ) – Takuma Ishii, Piano –

東京藝大を経てウィーン国立音大ピアノ科に入学、同大学修士課程を満場一致の最優秀で卒業。ポストグラデュエールコース修了。2016年ジョルジュ・エネスク国際コンクール(ルーマニア・ブカレスト)ピアノ部門第2位受賞。“TAKU-音 TV たくおん” YouTubeチャンネル総再生回数は1億回を超え、チャンネル登録者数も32万人突破。サントリーホール大ホール公演が発売3分で完売。2024年アルバム発売全国ツアー「Diversity」では総動員数1万人を動員。2025年6月満席のベルリンフィルハーモニーにて日本人ソリストとして大成功を収め、一躍世界的脚光を浴びる。古き良きクラシック音楽に主軸を置きながら、「クラシックをより身近に」がコンセプトのピアニスト。

